

FEEDファイバーポスト

再使用禁止

【禁忌・禁止】**

「適用対象」

- 本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
下記の症例、患者には適用しないこと。
- ・本品が直線的に装着できない症例
 - ・ブラキシズムのような強い負荷がかかる症例
 - ・残存歯質において、フェルールの高さ 1mm 以上、厚さ 1mm 以上を全周で確保できない症例

「使用方法」

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】* **

1. 構造

本品は、歯科修復物、補綴物等の維持又は補強手段として形成後の根管に挿入する繊維強化樹脂製の既製ポストである。

2. 原理

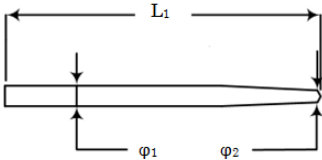
根管内に支台築造材料と共に本品を挿入することで、支台歯の補強もしくは維持効果が得られる。グラスファイバーにレジン加工を施してあり、光透過性及び X 線造影性を有する。

X 線造影性

FEED ファイバーポスト Basic	アルミニウム 2mm 相当以上
FEED ファイバーポスト	アルミニウム 3mm 相当以上
FEED スーパーファイバーポスト	アルミニウム 5mm 相当以上

3. 形状、寸法

FEED ファイバーポスト Basic、FEED ファイバーポスト、
FEED スーパーファイバーポスト 共通



No.	L1	phi1	phi2
0	20.0	1.10	0.6
1	20.0	1.35	0.8
2	20.0	1.47	0.8
3	20.0	1.67	1.0

単位：mm

4. 成分

FEED ファイバーポスト、FEED ファイバーポスト Basic：
グラスファイバー、エポキシレジン、
トリフルオロイソブチレン

FEED スーパーファイバーポスト：
グラスファイバー、エポキシレジン

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物等の維持又は補強に用いること。

【使用方法等】* **

1. 直接法における支台築造

1) 築造窩洞の形成

- ・通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、使用する本品の径を決めるため、X線写真等で確認のうえ、適切なサイズの本品とドリルを選択し、ポスト孔の形成を行う。ポスト孔を形成する際、根管充填材は 根尖から4mm以上残すこと。
- ・ポスト孔の長さは、臨床歯冠と同じか歯根の長さの2/3を目安とし、本品の2/3が根管内に、1/3が支台部分となるように設定する。
- ・根管形成後、水洗を行い、ペーパーポイント等を用いて、根管内を確実に乾燥させる。水洗時にポスト孔側壁に根管充填材を残さないこと。

2) 本品の試適

- ・形成した根管に本品を試適し、根管に適合することを確認する。
- ・試適した本品を取り外す。必要に応じて、ダイヤモンドディスクまたはバー等で本品を切断して長さを調節する。
- ・本品をアルコール綿で拭き、水、油及びその他の汚染物質のないエアブローで乾燥させる。
- ・根管を消毒し、ペーパーポイント等を用いて確実に乾燥させる。
※FEEDファイバーポスト Basicの前処理：植立の前処理として通法通りシランカップリング処理を行う。

3) 本品の植立

- ・使用する歯科用セメント、又は支台築造用コンポジットレジンの添付文書に従い、必要な歯面処理を行った後で本品を植立する。

4) 支台築造

- ・支台築造材料の添付文書に従い、支台築造を行う。
- ・2)で本品の長さを調整していない場合、ダイヤモンドディスクまたはダイヤモンドバーを用いて切断する。

2. 間接法における支台築造

1) 築造窩洞の形成

- ・通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、使用する本品の径を決めるため、X線写真等で確認のうえ、適切なサイズの本品とドリルを選択し、ポスト孔の形成を行う。ポスト孔を形成する際、根管充填材は 根尖から4mm以上残すこと。
- ・ポスト孔の長さは、臨床歯冠と同じか歯根の長さの2/3を目安とし、本品の2/3が根管内に、1/3が支台部分となるように設定する。
- ・根管形成後、水洗を行い、ペーパーポイント等を用いて、根管内を確実に乾燥させる。水洗時にポスト孔側壁に根管充填材を残さないこと。

2) 印象採得

- ・通法にしたがい、歯科用印象材で印象採得する

3) 模型製作及びポストサイズの設定

- ・採得した印象に歯科用模型材を用いて模型を製作する。窩洞内にアンダーカットがある場合は、ワックス等であらかじめブロックアウトする。
- ・模型上の築造窩洞にて、適切な太さの本品を選択して試適を行い、ポスト形成した先端まで到達していることを確認する。
- ・試適した本品を取り外す。必要に応じて、ダイヤモンドディスクまたはバー等で本品を切断して長さを調節する。
- ・本品をアルコール綿で拭き、水、油及びその他の汚染物質のないエアブローで乾燥させる。
※FEEDファイバーポスト Basicの前処理：植立の前処理として通法通りシランカップリング処理を行う。

4) レジンコアの製作

- ・模型に支台築造用コンポジットレジンの付着を防止する分離材（ワセリン等）を塗布する。
- ・支台築造用コンポジットレジンを模型根管内に填入し、本品を植立して、支台築造用コンポジットレジンを重合硬化させて固定する。
- ・支台築造用コンポジットレジンをを用いて支台を築造し、重合硬

化させてレジンコアを作成する。

5) レジンコアの装着

- ・製作したレジンコアを模型から取り外し、併用する接着性レジンセメントの添付文書にしたがって、築造窩洞に装着する。

「使用方法等に関連する使用上の注意」

- ・築造窩洞の形成前に、本品を挿入するスペースが十分あることを確認すること。
- ・本品を切断する際は、はさみやメス等を用いないこと。ダイヤモンドディスクまたはダイヤモンドバーを用いること。
- ・汚染を防ぐためにラバーダムを使用し、標準的な施術に従ってポストスペースを洗浄および消毒すること。
- ・FEEDファイバーポスト、FEEDスーパーファイバーポストはシラン加工が施されているため、直接手指等で触らず、ピンセット等を使用すること。
- ・本品にサンドブラスト処理を行わないこと。
- ・本品の保持力を増加させるため、適した接着性レジンセメントを使用すること。
- ・手指の油や、グローブに付着しているパウダー等の接着阻害物質が付着した場合は、アルコール綿で拭き取り、エアブローで確実に乾燥させること。また、エアブローの前にオイルミスト等の接着阻害物質が噴射されていないことを確認すること。

【使用上の注意】

- ・本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ・本品及び本品を使用した硬化物の切削、研磨作業等の際には、粉塵等による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク、防護眼鏡等を使用し、粉塵等の吸入及び目への付着を防止すること。
- ・本品の使用に際し、必要に応じてラバーダム等の防湿処置を施すこと。
- ・本品を誤飲させないように注意すること。万一誤飲した場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・傷があるドリルや汚染されたドリルは使用しないこと。
- ・【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外の使用はしないこと。
- ・歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

「保管方法」

高温、多湿、直射日光を避け、室温にて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：フィード株式会社
商品インフォメーションデスク
電話 0120-004-504

製造業者：アイルミサイエンス インク（アメリカ合衆国）
（iLumi Sciences, Inc.）